

京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都府京都市左京区吉田
京都大学構内
(761) 2554 編集室
(761) 2111 (内線2571)
電話・京都 3909
1部 70円

世界の原発反対闘争とその論理



農学部・市川助手に続く
タイトルバックはブロッコドルフの闘争を伝えるアルバイトカープ誌

「Warum kämpfen wir gegen Atomkraftwerke?」
農学部・市川助手に続く

中 イギリスの公開聴聞会

「中 イギリスの公開聴聞会」
イギリスの公開聴聞会が、原子力発電所の建設問題について、市民の意見を聴き取っている。...

自発的な闘争参加

共同体意識と

ボランティア精神

Kein KKW in Brokdorf!



Bilder von den Ereignissen am 30. Okt. 1976

ブロッコドルフには原発はいらない

「Kein KKW in Brokdorf!」
ブロッコドルフには原発はいらない。市民の自発的な闘争参加が、共同体意識とボランティア精神を醸成している。...

多岐にわたる論戦を展開
再処理工場めぐる公聴会
国側は後退を続ける

「多岐にわたる論戦を展開」
再処理工場めぐる公聴会。国側は後退を続ける。市民の反対運動が、政府の政策に大きな影響を与えている。...

膨大な被爆量
再処理の現場を見て

「膨大な被爆量」
再処理の現場を見て。再処理工場の現場には、膨大な被爆量が確認されている。...



ブロッコドルフでは火災ビンも飛ば

PRIVATEIGENTUM
BETRETEN VERBODEN
Der Eigentümer
Nordwestdeutsche Kraftwerke AG
Hier entsteht unser
Kraftwerk Brokdorf

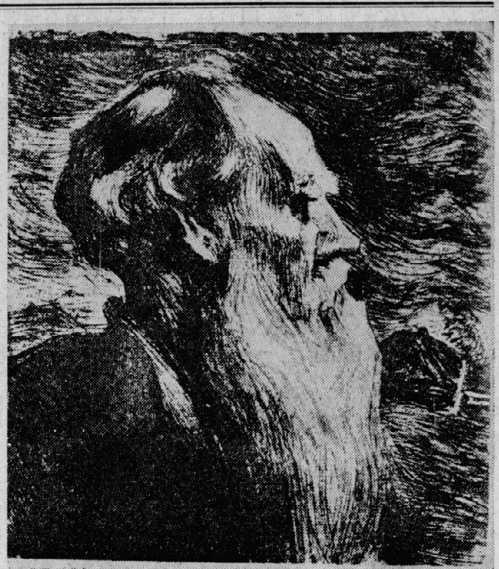
原簿予定地の立札 (ブロッコドルフ)

野間宏の巨篇
青年の環
第二次世界大戦前夜のひと夏
関西を舞台に展開する多岐多岐ドラマ
反戦運動をすすめる若者たちの動揺と
恋人たちの愛の葛藤、新興宗教に没頭する母親
父親の資本家をめぐる不気味な男の陰謀、
熱と炎の乱舞する部落騒動……
緊張と熱気をはらんで進行する、八千枚の全体小説！
青年の環文庫 全12巻

河出書房新社
162 東京都新宿区住吉町95 電話東京0-10802 電話03-355-5311
1 華やかな色彩 I
2 華やかな色彩 II
3 舞台の顔
4 舞台の顔
5 表と裏と表 I
6 表と裏と表 II
7 表と裏と表 III
8 影の領域 I
9 影の領域 II
10 炎の場所 I
11 炎の場所 II
12 炎の場所 III

高橋和巳全集
全20巻
第七巻小説7 邪宗門
第八巻小説8 邪宗門下
第九巻小説9 革命の佐吉

ロシア紀行連作から 藤正広



1906年 トルストイ
レオニド・バステルナーク 画

第二回二つの絵

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……



「高麗バステルナークの地べレリルエキ」

トルストイの「父」は、我々が知っている、あの有名な小説家の父である。……

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……

……この時、私は、この世のことが、まるで、自分のことのように、胸を打たれ、心を打たれた。……



「18・8・1バステルナーク墓石を前に」

真実を伝えて100年

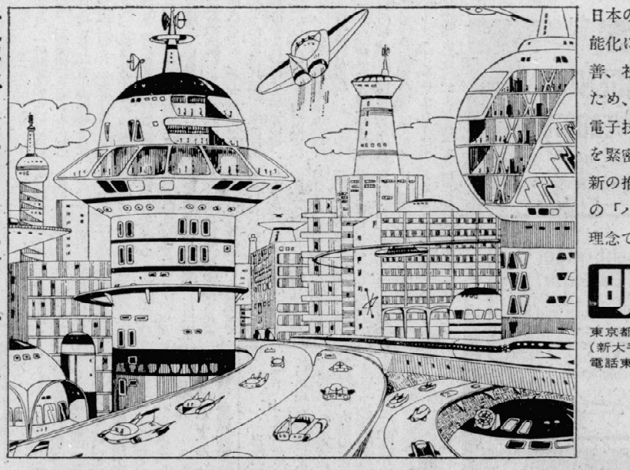
毎日新聞

発言と共感の広場

毎日新聞は、こゝし創刊百年、あたたかく、しかし冷静に、社会の変遷を見つめてきました。これからも、人間の目で、ニュースを掘り下げ、真実を広く伝え続けます。

パワートロニクス

健康で幸福な社会に貢献する



日本の産業の自動化、高性能化による革新、環境の改善、社会資本の充実などのため、重電機器のパワーと電子技術エレクトロニクスを緊密に一体化し、技術革新の推進力とするのが明電の「パワートロニクス」の理念です。

明電

東京都千代田区大手町2-2-1 (新大手町ビル)
電話東京03(21)3111

鉄のバイオン

川鉄は明日をめざして待ったなし

《環境対策》

自然との調和。地域社会との調和。企業にとって、生産活動以前の問題です。
《川鉄》が公害防止・環境整備にける費用は47年度で120億円強。これは「おきてしまった公害問題を処理するのではなく、決しておこさない」ためのものです。

たとえば、《川鉄》を代表する2大製鉄所の一つ、水島製鉄所は建設当初より、新しい理論、科学技術を駆使して、「太陽と緑の製鉄所」づくりに邁進してきました。
《川鉄》はクリーンインダストリーをめざして、すべての工場を緑でいっぱいしようとしています。

《川鉄》はこのほか、技術研究所に環境科学研究室を設置し、また本社と各工場に環境管理室(部)を設けるなど、単なる公害防止対策から、英知と良心を結集した、自然と産業の新しい環境創造をめざしています。

川崎製鉄株式会社

本社・神戸市東灘区北本町1丁目 電話(代表)神戸(22)4141